

44 大分県 豊後高田市, 杵築市, 宇佐市, 国東市, 姫島村, 日出町

くにさきはんとう う さ 国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会

クヌギ林とため池がつなぐ 国東半島・宇佐の農林水産循環



中学生特別授業



モニターツアー

経緯

- 当協議会は、国東半島宇佐地域の世界農業遺産の認定を目指し、2013年4月に活動を開始。
- 2013年5月の世界農業遺産認定後は「システムの保全・継承」「世界農業遺産ブランドを活用した地域の元気づくり」を柱に活動。

取組内容

- 次世代への継承教育として、生産者等が講師となり中学生への特別授業や、高校生による生産者からの「聞き書き」等を実施。
- 福岡都市圏住民を対象とした、しいたけ収穫体験や「田染荘小崎の農村景観」を巡るモニターツアー等を実施。

活動の成果

- 特別授業を受けた生徒達が、農作業に興味を持つようになるなど、自分たちの地域の農林水産業を見直すきっかけとなっている。
- 世界農業遺産認定を契機に、人々が地域に誇りを持ち、地域資源を活用した自主的な活動が進展している。

今後の方針

- 次世代継承教育やグリーンツーリズムとの連携による交流人口の増加などを目指す。
- 他の国内認定地域と連携し、イベントの共同開催等を通じた情報発信を加速。

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会（大分県農林水産部農林水産企画課内）
大分県大分市大手町3-1-1 Tel：097-506-3525 Fax：097-506-1757

45 大分県 日田市

だいまいこうく 大明工区資源保全組合

「大肥の庄」の恵みは絶やさない



水路の草刈り、泥上げ活動



都市住民・地域住民による麦踏み大会

経緯

- 平成10年に17集落で構成する「大肥郷ふるさと農業振興会」を設立。平成15年に同振興会を農業法人化。
- 農地・水・環境保全向上対策発足時に、農地や水路の保全等振興会の営農部門を下支えする当組合を立上げ。

取組内容

- 多集落1農場方式の大規模低コスト農業を下支えする草刈りや水路の維持補修、農道等の施設管理を推進。
- 非農家や子供達に農業にふれてもらうため、季節ごとの農業体験塾や麦踏み大会、農道沿いの花の植付け等実施。

活動の成果

- 二つの組織が互いに連携することで、多集落1農場方式による低コスト、高品質農業の実践を可能としている。
- 共同活動で集落内のコミュニケーションが図られ、都市住民との交流で新たな出会いが生まれるなど地域が活性化。

今後の方針

- 農地保全と施設維持を堅実にしながら、中間管理機構を活用した更なる農地の集積の推進。
- 作物のブランド化、景観と実益を兼ねた菜種やひまわりの搾油事業の展開など地域ぐるみの農業の発展。

大明工区資源保全組合
大分県日田市夜明上町693-1 Tel：0973-27-7211 Fax：0973-27-7210

46 大分県 臼杵市

うすきツーリズム活性化協議会

臼杵時間体感！海、山、人で楽しむ臼杵の町

活性化協議会年間計画の検討の様子



地域ブランドで農泊家庭が作る「うすき100年弁当」



経緯

- グリーンツーリズムによる都市部や海外との交流が年々促進されているが、市全体の地域資源が共有されていない。
- 地域資源の有効活用と臼杵のツーリズム推進の総合マネジメント組織の確立のため、平成25年に当協議会を設立。

取組内容

- 臼杵市ならではの特産品として、ジビエ活用の饅頭「猪ぼっぼ」や特産魚等使用の「うすき100年弁当」を開発。
- 観光と農村民泊のセットプランを開発するための地引網等とのコラボイベントや移住希望者向け農泊ツアーを実施。

活動の成果

- 農泊で提供する料理素材を漁業団体から仕入れるなど、協議会活動を通じて実践者間の連携体制が確立。
- 移住希望者向け農泊ツアーは、予想以上の反響。実際の移住に結びつく効果のほか、一定の集客が見込める。

今後の方針

- 観光資源を活かした外国人向けのグリーンツーリズムについて実際の外国人を招聘し検証を行っていく。
- 人、観光資源、特産品などの魅力ある情報を、協議会HPを使い、広く、分かりやすく情報発信していく。

うすきツーリズム活性化協議会
大分県臼杵市大字野津市949番地 Tel : 0974-32-7181 Fax :0974-32-7764

47 大分県 宇佐市

ふかみちく 深見地区まちづくり協議会

農山漁村における大学・企業等の研修等

地域課題の把握 地域住民への聞き取り調査



地域の方の案内を聞きながらフットパスの体験



経緯

- 安心院町はグリーンツーリズムの先進地であるが、人口減少、高齢化など他の農山村と同様の課題を抱える。
- 大学等との連携により地域課題研究、実践の拠点機能の整備等を行うため、当協議会を平成25年に設立。

取組内容

- 地元大学の合宿を受け入れ、地域住民と交流しながら課題を調査。地域の良さを再認識するためのフットパスを実施。
- 地域と学生の交流拠点としてのカフェを廃校内にオープン。カフェ運営の充実のため「郷土料理勉強会」を開催。

活動の成果

- 学生・研究者を中心に多種多様な人材・来訪者を招いたことで、地域住民に刺激を与えることができた。
- フットパス体験、学習フォーラム活動、カフェ試行により地域資源の豊かさを再確認し、今後の活動の足がかりとなった。

今後の方針

- 子どもから高齢者までいきいきと安全・安心に暮らせる生活環境の整備や、集落を越えた校区の一体感。
- 地域文化、伝統を守り発展させる活動団体の活性化や地域資源を生かした都市部との交流による地域活性化。

深見地区まちづくり協議会
大分県宇佐市安心院町矢畑442番地2 Tel : 0978-44-4544 Fax :0978-44-4544

48 大分県 宇佐市

しももりやま 下森山環境保全組合

～神様と仏様にいただいた森山の自然を後生に～

住民参加による休耕田の活用



経緯

- 本地区の地域活動は、農家主体で行っていたが、農業の大規模化に伴う農家戸数減少等により活動が困難化。
- 一方、宅地化が進み非農家が大幅に増加。地域住民一体で活動に取り組むため、当組織を平成24年に設立。

活動の成果

- 集落が共同で活動することで、集落内のコミュニケーションが図られ自治会等の行事に参加しやすい環境を醸成。
- 高齢者も子供達と接することで、元気ももらっている。収穫体験では農業の楽しさが学べ、後継者の育成に期待。

ジャンボカボチャの収穫



取組内容

- 県道沿いの休耕田を利用し景観形成として、子供会と連携してヒマワリを植栽し帰省時期に鑑賞会を開催。
- 小学校との連携では、カボチャやニンニクの収穫を行い、収穫の喜びを体感し農業への関心を深めている。

今後の方針

- 地域コミュニティの脆弱化が危惧されていたが、本活動の開始に伴い年々世代を超えた絆が深まりつつある。
- 今後は継続的に活動が実施できるよう、若いリーダーの育成が重要である。

下森山環境保全組合

大分県宇佐市大字森山869 Tel: 0978-32-1995 Fax: -

49 大分県 豊後大野市

おおのまち ほぜんたい 大野町みどり保全隊農地・水・環境保全管理協定運営委員会

～花の社会性が地域を変える～

植栽状況



経緯

- 農地・水・環境保全向上対策に取り組むため、当委員会を平成19年に設立。農業者360名、20の自治会等で構成。
- 畑法面の草刈り等の省力化を目的として、平成22年より畑法面・農道法面にシバザクラの植栽を推進。

活動の成果

- シバザクラ植栽の集落合意形成はスムーズに進み、これまで12地区で実施。傾斜畑の土壌流出防止効果もある。
- 草刈りの省力化、景観形成のみならず、病害虫の抑制、草刈事故防止等の観点からも地域の評価は高い。

開花状況



取組内容

- 地域全体の協力により集落単位に順番でシバザクラを1集落当たり300~400㎡植栽する計画を実践。
- 植栽は集落の役員が植栽箇所の雑草処理、防草シート敷きを事前に行い、植栽当日は集落の住民総出で行う。

今後の方針

- 多面的機能支払の活動項目の一つとして実施する中、誰もが関われる活動でコミュニケーションの発展へ繋げたい。
- 花の美しさを意識共有し、感性を高めることで、心地よい景観形成、効率の良いムラ作りに努めていきたい。

大野町土地改良区

大分県豊後大野市大野町田中2600-4 Tel: 0974-34-2723 Fax: 0974-34-2722

ここのえけんぴ さと
九重健美の里づくり協議会

～都会にないもの、ふるさと九重を発信し共生対流の実現を目指す～



「九重朱鷺夢米」の稲刈風景



経緯

- 九重町を訪れる観光客は年間500万人に上るが、そのほとんどが通過型でありグリーンツーリズムも十分ではない。
- 都市部との交流促進、大学・企業との連携による地域産品の販売増を目指し、当協議会を平成25年に立上げ。

取組内容

- 九重地域での梨刈りや乗馬、アロマ等の体験や地産地消の食事ができる「ここのえすきっぷ」を開発。
- 特産品の中で「米」のブランド化を目指し、8名の生産農家の参加を得て「九重朱鷺夢米」として、直売に着手。

活動の成果

- 体験と食事が割安で提供できる「ここのえすきっぷ」は町が主催する各イベント等でもPRされ、普及しつつある。
- 「九重朱鷺夢米」はブランド化の効果により、新たな栽培参加を希望する農家が増加した。

今後の方針

- 定住人口1万人、交流人口2万人、併せて3万人が集うまちづくりを目指している。
- 町を知ってもらい、町に来てもらい、町に宿泊してもらい、町の産品を買ってもらう九重のファンづくりを進める。